

2019年4月スタート

大阪大学×関西学院大学

社会学研究科・文学研究科・法学研究科

独り立ちデータサイエンティスト

人材育成プログラム(DS4)

人文社会統計学コース

人文社会科学系の諸領域で、自らが関心を持つテーマについて実証研究を行う大学院生が、データに基づく課題解決・価値創造の考え方や手続きを体系的かつ集中的に学び、一流のデータサイエンティストを目指すためのプログラム

選択必修科目A群
(阪大科目を受講・土曜開講/夏期集中)

DSインターンシップ
実証型研究法
データ科学特論
データ科学PBL
数理特論Ⅲ

3科目(6単位相当)^{※1}

選択必修科目B群
(関学科目を受講)

社会統計学Ⅲ(社)
調査企画演習(社)
統計解析演習B(社)
行動科学研究法A(文・法)

2科目(4単位相当)

選択科目
(関学科目を受講)

統計解析演習A・C(社)
調査統計演習(社)
社会心理学講義A・B(社・文^{※3})
行動科学研究法A(文・法)

1科目(2単位相当)以上

計6科目(12単位相当)以上の修得で、プログラムを修了できます^{※2}

^{※1}「DSインターンシップ」の単位を修得した履修生は、A群から5単位以上、合計11単位以上で修了可能です

^{※2}ただし阪大科目(選択必修科目A群)は、関西学院大学大学院の修了要件には含まれません

^{※3}文学研究科における科目名は「社会心理学特殊講義1・2」です



学内責任者:清水裕士(社会学研究科・教授)

http://www.kg-rcsp.com/related_events/ds4/

DS
DATA
SCIENCE

Frequently Asked Questions:

Q: このプログラムに参加するメリットは何ですか。

A: 皆さんは、研究の手段としてデータサイエンスを活用している、いわばデータサイエンスのパワーユーザです。そうした人材が一流のデータサイエンティストへと着実に進化できる里程が、このプログラムにはあると考えています。データサイエンティストは、いかなる研究課題であってもデータサイエンスによってアプローチし、その解決を図ろうとする人材では「ありません」。データサイエンスによるアプローチが有効かどうか、つまり、有益な情報が得られ価値創造できる課題であるかどうかを判断できる能力を身につけた科学者のことです。データサイエンスは常に first choice とは限りませんし、万能とも限りません。データを分析することの価値を正しく理解するために、データサイエンスの基礎を集中的に学び、実践していただきたいと考えています。

Q: 2018年度に選択必修科目A群/選択科目の単位を取得した新M2生です。過去に取得した単位も認定申請が可能ですか。

A: 可能です。

Q: 博士後期課程の学生もプログラムに参加できますか。

A: 可能です。上記と同様に、過去に履修した科目についても認定申請可能としますが、何年間遡れるかについては検討中です。

Q: 選択必修科目A群と選択科目の両方に設定されている科目については、どちらで読替申請してもよいのですか。

A: どちらかで1つであれば、かまいません。

Q: 履修の具体的な手続きを教えてください。

A: プログラムWebサイト(表面参照)をよく読み、関連資料を入手して下さい。その上で履修願を作成して、4月10日までに学内責任者に連絡して下さい。関学科目はご自身で履修登録して下さい。阪大科目の受講は4月当初から可能です。